

H24-D1-5 深度47.47~47.89m 最新活動面の位置 (No.最-37) を変更

- 変更後の最新活動面認定方法によると、H24-D1-5 深度47.47~47.89m の破碎部における最新活動面は断層ガウジの下端の断層面であるため変更した。

H24-D1-5 深度47.47~47.89m ボーリングコア観察 断層面の認定

- ボーリングコア観察において、深度47.47mに断層面 α 及び断層面 β が認められる。
- 断層面 α は細粒部を伴い、湾曲及び凹凸が少なく、直線性に富む。また、不連続部が認められず、連続性に富む。
- 断層面 β は細粒部を伴い、湾曲及び凹凸が少なく、直線性に富む。また、不連続部が認められず、連続性に富む。

コア写真

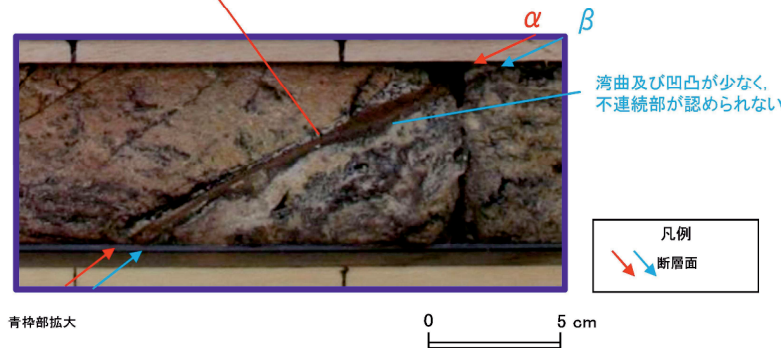


ボーリング柱状図

●47.47~47.89m: 破碎部 (D-1破碎帯)
 47.47~47.48m: 粘土状部 (Hc-1)
 傾斜65° で直線的にシャープに連続。径1~2mmの石英粒を少量含む。軟質。灰褐色を呈する。幅3~6mm。
 47.48~47.66m: 粘土質礫状部 (Hb)
 上端65° で直線的にシャープに連続。下端は不明瞭で漸移的である。径2~3mmの石英粒と径5~10mmの大半が粘土化した花崗斑岩の岩片を含む。軟質。灰黄色を呈する。石英粒と岩片の多くはマンガン鉱染で黒褐色化する。幅67mm (68°)。
 47.66~47.86m: 粘土混じり岩片状部 (Hj)
 上端は不明瞭で漸移的に、下端63° で直線的にシャープに連続。径10~40mmの一部粘土化、一部硬さ「E」、ないし、「D」の岩片主体で、岩片間の基質は灰黄~灰白色に粘土化する。石英粒と岩片の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。全体は灰黄~灰白色を呈する。幅90mm (63°)。
 47.86~47.89m: 粘土質礫状部 (Hb)
 上端63°、下端60° でともに直線的にシャープに連続。径2~10mmの石英粒を多く含む。軟質。灰白色を呈する。幅15mm (60°)。

凡例
 ← → 破碎部範囲*
 ※: 写真上は白色で記載

湾曲及び凹凸が少なく、不連続部が認められない



湾曲及び凹凸が少なく、不連続部が認められない

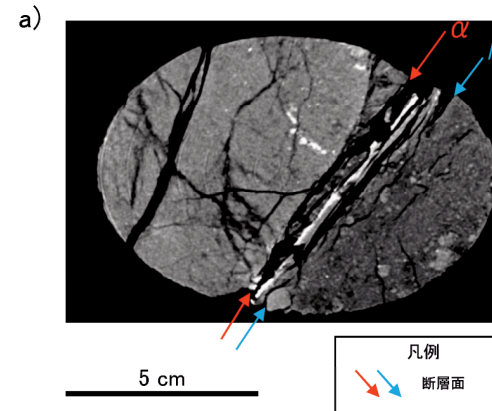
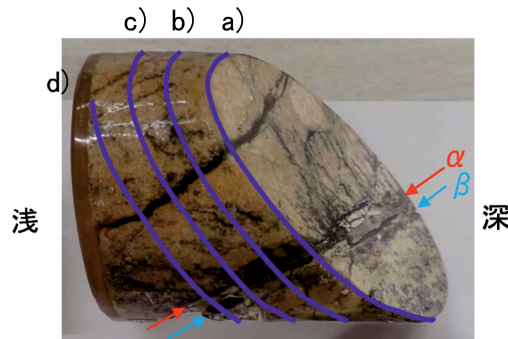
凡例
 ↗ ↘ 断層面

H24-D1-5 深度47.47~47.89m 最新活動面の位置 (No.最-37) を変更

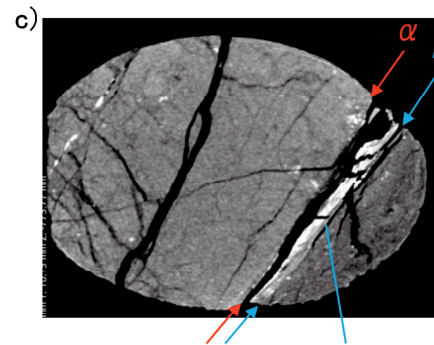
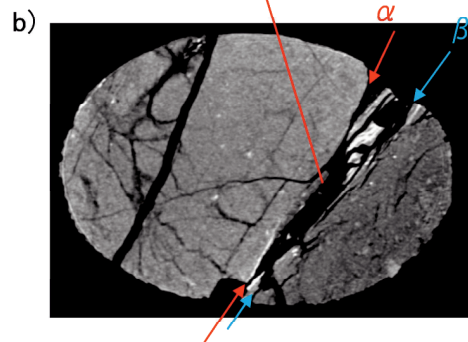
H24-D1-5 深度47.47~47.89m CT画像観察 断層面の認定

- CT画像観察において、ボーリングコア観察で認められた断層面 α 及び断層面 β が認められる。
- 断層面 α は細粒部を伴い、やや湾曲して直線性に乏しい。三次元的に他の構造に切られておらず、不連続部は認められず連続性に富む。
- 断層面 β は細粒部を伴い、湾曲及び凹凸が少なく、直線性に富む。三次元的に他の構造に切られておらず、不連続部は認められず連続性に富む。

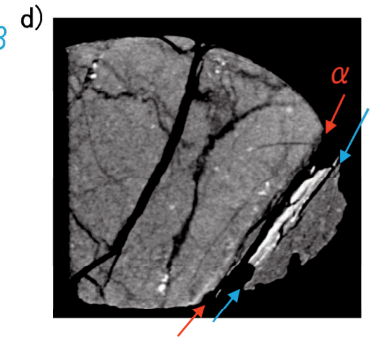
研磨片CT画像



やや湾曲し、不連続部が認められない



湾曲及び凹凸が少なく、不連続部が認められない

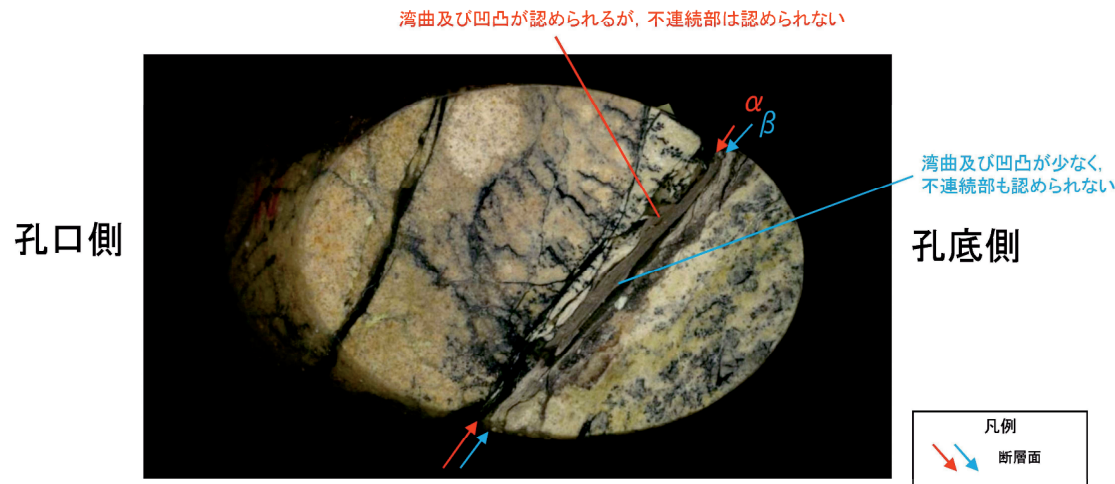


H24-D1-5 深度47.47~47.89m 最新活動面の位置 (No.最-37) を変更

H24-D1-5 深度47.47~47.89m 研磨片観察 断層面の認定

- ・研磨片観察において、CT画像観察の結果と同様に断層面 α 及び断層面 β が認められる。
- ・断層面 α は細粒部を伴い、湾曲及び凹凸が認められ直線性は乏しい。他の構造に切られておらず、不連続部は認められず連続性に富む。
- ・断層面 β は細粒部を伴い、湾曲及び凹凸が少なく直線性に富む。他の構造に切られておらず、不連続部は認められず連続性に富む。
- ・ポーリングコア観察、CT画像観察、研磨片観察より、細粒部を伴い、最も直線的な深度47.47mの断層面 β を検討対象の断層面とした。

研磨片写真



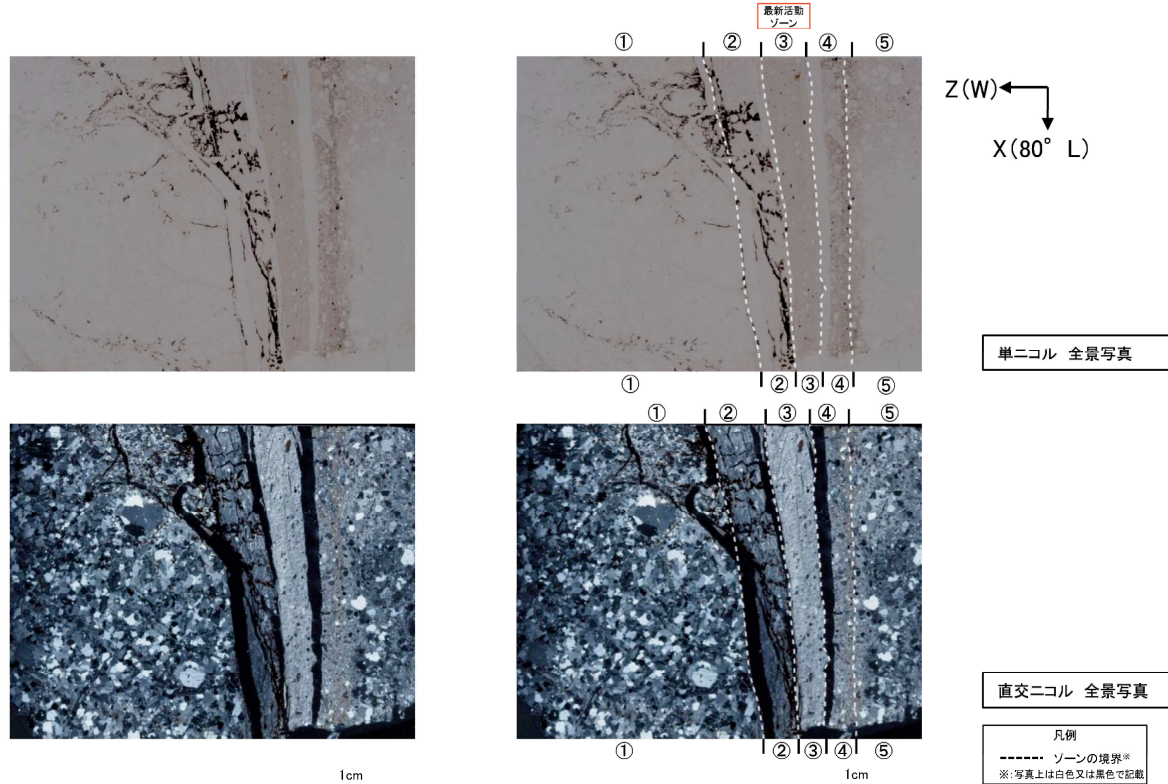
※試料作成時に断層面の開口と一部欠損が生じている

5 cm

H24-D1-5 深度47.47~47.89m 最新活動面の位置 (No.最-37) を変更

H24-D1-5 深度47.47~47.89m 薄片観察 分帯

- ・①のゾーンは、健岩部である。
 - ・②のゾーンは、粘土鉱物の量は少なく、粘土鉱物の定向配列は認められない。岩片は少ないが、③のゾーンより多く、丸みを帯びている岩片が多い。
 - ・③のゾーンは、粘土鉱物の量は多く、粘土鉱物の定向配列が認められる。岩片は④のゾーンより少なく、丸みを帯びている岩片が多い。
 - ・④のゾーンは、粘土鉱物の量は多く、粘土鉱物の定向配列は認められない。岩片は少なく、丸みを帯びている岩片が多い。
 - ・⑤のゾーンは、粘土鉱物の量は少なく、粘土鉱物の定向配列は認められない。岩片は多く、角ばっている岩片が多い。
- 以上のことから、細粒化が最も進んだ③のゾーンを最新活動ゾーンと認定した。



添付資料 4

- ④ K断層の活動性評価に関するデータのトレーサビリティ確認結果について

- K断層の活動性評価に係る調査データについてトレーサビリティの確認をした結果、次頁以降に当初申請からデータが修正となる箇所(58箇所)をとりまとめた。
- なお、露頭で取得した破碎部等の走向・傾斜について、当初申請では偏角補正を実施していなかったが、ヒアリング等の状況を踏まえて第536回審査会合(平成29年12月22日)資料において偏角補正を行ったデータを提示している。修正の一覧表では、偏角補正以外の修正の箇所についてとりまとめている。
- また、今回補正において、当初申請から取り下げている図についても合わせて示す。

No.	変更、修正前の資料			変更、修正の内容			変更、修正理由	分類	エビデンス資料	記載頁
	変更、修正前の資料	前	後	補正申請書図番	変更、修正理由					
活-1	設置変更許可申請書	第7.4.4.36図		⑧層 層相 シルト混じり砂主体で、礫混じり砂質シルトや砂質シルト層を層状からレンズ状に挟在する。下位の⑦層とは平行な不整合面で接する。	⑧層 層相 シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行な不整合面で接する。	第7.4.4.3表	露頭スケッチの記事欄を基に記載を修正した	修正	スケッチ 露頭写真	添4-6
活-2	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(1)	⑦層 褐(7.5YR4/3)	⑦層 褐(7.5YR4/3)	第7.4.4.63図	(1) マンセル記号の誤記を修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-7
活-3	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(1)	①層 にぶい赤褐色	①層 にぶい赤褐～灰白色	第7.4.4.63図	(1) エビデンス資料からの転記ミスを修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-7
活-4	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(3)	⑦層 褐(7.5YR4/3)	⑦層 褐(7.5YR4/3)	第7.4.4.63図	(3) マンセル記号の誤記を修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-8
活-5	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(3)	①層 にぶい赤褐色	①層 にぶい赤褐～灰白色	第7.4.4.63図	(3) エビデンス資料からの転記ミスを修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-8
活-6	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(5)	⑦層 褐(7.5YR4/3)	⑦層 褐(7.5YR4/3)	第7.4.4.63図	(5) マンセル記号の誤記を修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-9
活-7	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(5)	①層 にぶい赤褐色	①層 にぶい赤褐～灰白色	第7.4.4.63図	(5) エビデンス資料からの転記ミスを修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-9
活-8	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(5)	②: f:N78° W80° S 断層ガウジ(灰赤色砂混じり粘土 幅 5mm)	②: f:N21° E82° W 断層ガウジ(灰白色砂混じり粘土 幅 20mm)	第7.4.4.63図	(5) ②の記事内容がスケッチの付番と整合するよう修正した(偏角補正実施)。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-9
活-9	設置変更許可申請書	第7.4.4.44図	(5)	③: f:N28° E82° W 断層ガウジ(灰白色砂混じり粘土 幅 20mm)	③: f:N85° W80° S 断層ガウジ(灰赤色砂混じり粘土 幅 5mm)	第7.4.4.63図	(5) ③の記事内容がスケッチの付番と整合するよう修正した(偏角補正実施)。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-9
活-10	設置変更許可申請書	第7.4.4.53図	(1)	土壌化部の分布を修正		第7.4.4.73図	土壌化部の分布について、エビデンス資料に基づき修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-10
活-11	設置変更許可申請書	第7.4.4.54図	(1)	測線Vの濃集分析を追加		第7.4.4.80図	(1) 測線Vの濃集分析範囲を追記した。	修正	-	添4-11
活-12	設置変更許可申請書	第7.4.4.54図	(4)	凡例に合わせグラフタイトルを修正		第7.4.4.80図	(4) 凡例と合うように記載を修正した。	修正	-	添4-12
活-13	設置変更許可申請書	第7.4.4.54図	(5)	凡例に合わせグラフタイトルを修正		第7.4.4.80図	(5) 凡例と合うように記載を修正した。	修正	-	添4-13
活-14	設置変更許可申請書	第7.4.4.57図		体裁を第536回審査会合資料 資料2 150頁に修正		第7.4.4.81図	(1) 説明内容に合わせ資料体裁を見直した。見直しに伴い読取り誤りを修正した。詳細についてはNo.活-56、活-57参照。	修正	-	添4-14
活-15	設置変更許可申請書	第7.4.4.59図		“テフラを含まない層準”のデータが2試料分グラフに反映されていなかったため追加した		第7.4.4.84図	資料作成時の転記漏れを修正した。	修正	分析結果	添4-15
活-16	設置変更許可申請書	第7.4.4.59図		北西法面スケッチに「美浜テフラを挟む層」ハッチを追記		第7.4.4.84図	北西法面に美浜テフラを挟む層のハッチを追記した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4-15
活-17	設置変更許可申請書	第7.4.4.59図		北法面スケッチにテフラ降灰層準を追記		第7.4.4.84図	北法面スケッチに降灰層準を追記した。	修正	分析結果	添4-15
活-18	設置変更許可申請書	第7.4.4.59図		凡例から「土壌化部」を削除		第7.4.4.84図	図面で使っていない凡例を削除した。	修正	-	添4-15
活-19	設置変更許可申請書	第7.4.4.60図		項目名と軸の重なりを修正		第7.4.4.85図	項目とグラフの軸が重なっていたため修正した。	修正	-	添4-16
活-20	設置変更許可申請書	第7.4.4.60図		P1、P2マツのグラフ模様を修正		第7.4.4.85図	グラフの模様が凡例と一致するように修正した。	修正	-	添4-16
活-21	設置変更許可申請書	第7.4.4.60図		P1ンダ植物胞子のグラフを表示		第7.4.4.85図	グラフ作成時のエビデンス資料からの転記ミスを修正した。	修正	花粉分析結果	添4-16
活-22	設置変更許可申請書	第7.4.4.60図		イテイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科のプロットを表示		第7.4.4.85図	グラフ作成時のエビデンス資料からの転記ミスを修正した。	修正	花粉分析結果	添4-16
活-23	設置変更許可申請書	第7.4.4.60図		スケールを表示		第7.4.4.85図	スケールの表示忘れを修正した。	修正	-	添4-16
活-24	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(1)	スケッチ中の測定位置番号96～105を90～99に修正		第7.4.4.109図	(1) スケッチ上の測定位置番号があっていないため修正した。	修正	-	添4-17
活-25	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(2)	調査位置図で示す法面を北西法面から北法面に修正		第7.4.4.109図	(2) 調査位置図で示す法面の誤りを修正した。	修正	-	添4-18

No.	変更、修正前の資料			変更、修正の内容			変更、修正理由	分類	エビデンス資料	記載頁	
	変更、修正前の資料	前	後	補正申請書図番	後	補正申請書図番					
活-26	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(3)	K断層による影響を受けていないと判断した地層(最大集中心:N33° W6° W)	K断層による影響を受けていないと判断した地層(平均値:N43° W6° W)	第7.4.4.109図	(3)	K断層による影響を受けていないと判断した地層の平均値について計算時の転記ミスを修正した結果に修正した(再計算に合わせ偏角補正も実施している)。	修正	計算結果	添4 - 19
活-27	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(3)	凡例中の「最大集中心」を「平均値」に修正		第7.4.4.109図	(3)	凡例には平均値を記載しているため、記載の修正を行った。	修正	-	添4 - 19
活-28	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(4)	凡例 北西面③層の走向・傾斜	凡例 北西法面及び北法面③層の走向・傾斜	第7.4.4.109図	(4)	本図は、北西法面及び北法面のデータを用いて作成しているため、凡例の記載を修正した。	修正	-	添4 - 20
活-29	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(4)	偏角補正を行ったデータでクラスター分析とコンターダイアグラムを再作成 (作成時の転記誤りの修正含む)		第7.4.4.109図	(4)	クラスター分析時の入力誤りを修正した(偏角補正を行ったうえで分析した結果に修正)。	修正	スケッチ	添4 - 20
活-30	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(6)	凡例中の「最大集中心」を「平均値」に修正		第7.4.4.109図	(6)	凡例には平均値を記載しているため、記載の修正を行った。	修正	-	添4 - 21
活-31	設置変更許可申請書	第7.4.4.63図	(7)	クラスター分析結果の誤記を修正		第7.4.4.109図	(7)	K断層による影響を受けていないと判断したデータと、K断層による影響を受けていると判断したデータを逆に記載していたため修正した。	修正	-	添4 - 22
活-32	設置変更許可申請書	第7.4.4.70図	(2)	トレーサビリティ確認済のデータで作成した図に修正した		第7.4.4.93図	(2)	トレーサビリティ確認済のデータで作成した図に修正した。	修正	スケッチ	添4 - 23
活-33	設置変更許可申請書	第7.4.4.71図		研磨片及びCT画像の向きを修正		第7.4.4.94図		画像の向きが実物と整合していなかったため修正した。	修正	コア写真	添4 - 24
活-34	設置変更許可申請書	第7.4.4.73図		①②の誤記を修正		第7.4.4.96図		誤記を修正した。	修正	-	添4 - 25
活-35	設置変更許可申請書	第7.4.4.73図		⑥の記載方法を適正化した		第7.4.4.96図		適切な体裁に修正した。	修正	-	添4 - 25
活-36	設置変更許可申請書	第7.4.4.73図		「b:層理面」を追加		第7.4.4.96図		bの凡例の記載漏れを修正した。	修正	-	添4 - 25
活-37	設置変更許可申請書	第7.4.4.78図		南法面の高さ T.P23.0m	南法面の高さ T.P25.6m	第7.4.4.103図		法面高さの転記ミスを修正した。	修正	スケッチ	添4 - 26
活-38	設置変更許可申請書	第7.4.4.78図		Mh降灰層準の微修正		第7.4.4.103図		エビデンス資料に基づき、降灰層準のテフラ分析結果とのずれを修正した。	修正	分析結果	添4 - 26
活-39	設置変更許可申請書	第7.4.4.78図		②層③層境界の修正		第7.4.4.103図		エビデンス資料からの転記ミスを修正した。	修正	分析結果	添4 - 26
活-40	設置変更許可申請書	第7.4.4.78図		入口ピットの図面縦横比修正		第7.4.4.103図		図面作成時に縦横比を誤っていたため修正した。	修正	-	添4 - 26
活-41	設置変更許可申請書	第7.4.4.79図	(1)	一部の走向・傾斜の測定位置が未記載だったものを追記		第7.4.4.101図	(1)	スケッチ中に走向・傾斜測定位置を追記した。	修正	スケッチ	添4 - 27
活-42	設置変更許可申請書	第7.4.4.79図	(2)	ボーリングG-2を追記した		第7.4.4.101図	(2)	ボーリングG-2を追記した。	修正	-	添4 - 28
活-43	設置変更許可申請書	第7.4.4.79図	(2)	基盤上限面の修正、法面名称の誤記修正		第7.4.4.101図	(2)	調査データに基づき基盤上限面に修正した。法面名称の誤記を修正した。	修正	-	添4 - 28
活-44	設置変更許可申請書	第7.4.4.79図	(4)	写真2の枠内に断層が入るように修正		第7.4.4.101図	(6)	写真2の範囲を示す枠がずれていたため修正した。	修正	-	添4 - 29
活-45	設置変更許可申請書	第7.4.4.79図	(5)	写真1の拡大範囲を修正		第7.4.4.101図	(7)	写真1の拡大範囲がずれていたため修正した	修正	-	添4 - 30
活-46	設置変更許可申請書	第7.4.4.82図	(1)	南法面及び入口ピットのスケッチ修正		第7.4.4.112図	(1)	エビデンス資料に基づき修正した	修正	スケッチ	添4 - 31
活-47	設置変更許可申請書	第7.4.4.82図	(1)	調査位置図のスケッチ範囲を修正		第7.4.4.112図	(1)	スケッチ範囲がずれていたため修正した。	修正	スケッチ	添4 - 31
活-48	設置変更許可申請書	第7.4.4.82図	(1)	③層 D2 シルト～砂。トラ班状を呈することが多い。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。 D3 下位を削り込む砂礫。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。	③層 D2 シルト～砂。トラ班状を呈することが多い。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。 D3 下位を削り込む砂礫。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。	第7.4.4.112図	(1)	色調の誤記を修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4 - 31

K断層の活動性評価に関するデータトレーサビリティの確保に伴う修正箇所一覧表

No.	変更、修正前の資料			変更、修正の内容			変更、修正理由	分類	エビデンス資料	記載頁		
	変更、修正前の資料	前	後	補正申請書図番								
活-49	設置変更許可申請書	第7.4.4.82図	(2)	テフラ分析測線を修正			第7.4.4.112図 (2)	テフラ分析測線のずれを修正した。	修正	分析結果	添4 - 32	
活-50	設置変更許可申請書	第7.4.4.82図	(2)	③層 D2 シルト～砂。トラ班状を呈することが多い。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。 D3 下位を削り込む砂礫。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。	③層 D2 シルト～砂。トラ班状を呈することが多い。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。 D3 下位を削り込む砂礫。灰白色(2.5Y7/1)～橙色(7.5YR7/6)。	第7.4.4.112図	(2)	色調の誤記を修正した。	修正	スケッチ 露頭写真	添4 - 32	
活-51	設置変更許可申請書	第7.4.4.83図	(1)	各テフラの降灰層準を修正			第7.4.4.113図	(1)	各テフラの降灰層準がずれていたため修正した。	修正	分析結果	添4 - 33
活-52	設置変更許可申請書	第7.4.4.83図	(1)	測線Yの棒グラフの色を修正			第7.4.4.113図	(1)	棒グラフの色が他の測線と異なっていたので修正した。	修正	-	添4 - 33
活-53	設置変更許可申請書	第7.4.4.83図	(1)	濃集分析の測線名 南-5	濃集分析の測線名 測線Y	第7.4.4.113図	(1)	資料間で測線名を統一した。	修正	-	添4 - 33	
活-54	設置変更許可申請書	第7.4.4.83図	(1)	調査位置図の観察面形状を修正			第7.4.4.113図	(1)	調査位置図の観察面形状を図の範囲と合うように修正した。	修正	-	添4 - 33
活-55	設置変更許可申請書	第7.4.4.84図	(3)	解釈線の修正			第7.4.4.102図	(3)	解釈線がずれていたため修正した。	修正	-	添4 - 34
活-56	第536回審査会合資料 本編	本編150ページ		屈折率の表の修正			第7.4.4.81図	(1)	エビデンス資料からの読取り誤りを修正した。	修正	分析結果	添4 - 35
活-57	第536回審査会合資料 本編	本編150ページ		海上BrNo.2 67.20～67.30m (Mj)のプロットの形状を凡例に合わせて修正			第7.4.4.81図	(1)	プロットの形状が凡例と整合していなかったため修正した。	修正	-	添4 - 35
活-58	第657回審査会合資料 本編	本編128ページ		性状欄のo層のコメントを修正			第7.4.4.104図	(15)	o層のコメント中の誤記を修正した。	修正	-	添4 - 36

D-1トレンチ 全体スケッチ 地質層序表の⑧層のコメント (No.活-1) の修正

従前

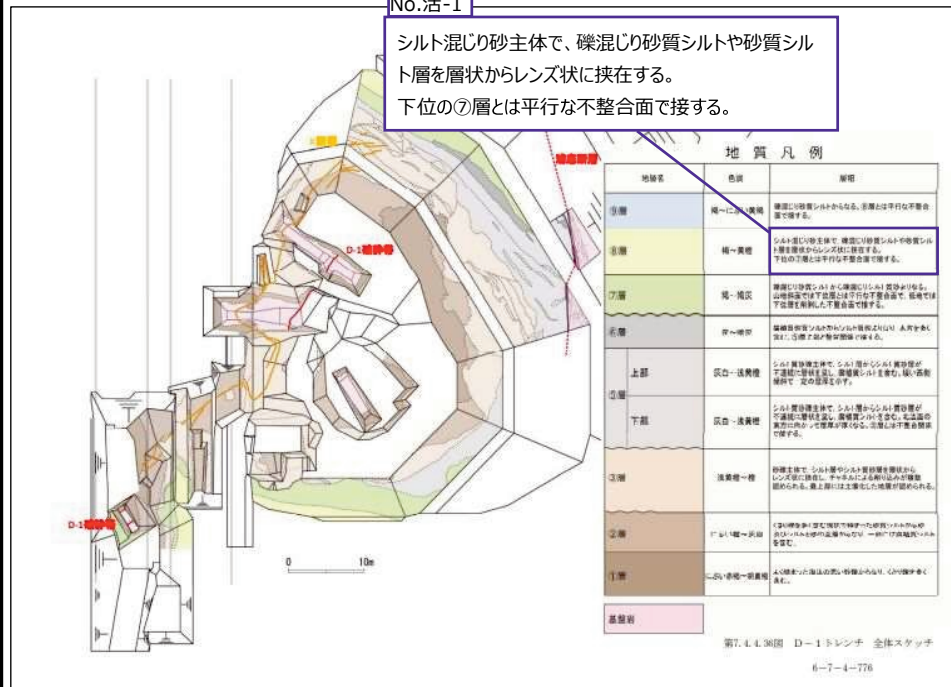
見直し後

敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
6-7-4-776頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)

No.活-1

シルト混じり砂主体で、礫混じり砂質シルトや砂質シルト層を層状からレンズ状に挟在する。
下位の⑦層とは平行不整合面で接する。



別紙6-7-4-8

第7.4.4.3表 D-1トレンチの地質層序表

年代	地層名	色調	層相	テフラ分析	花粉分析	土壌分析		放射性炭素(14C)年代測定	OSL年代測定	地層年代
						土壌分類	遊離酸比数分析			
更新世	⑧層	黄～に黄緑	礫混じり砂質シルトからなる。⑧層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS2以降
	⑦層	黄～黄緑	シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS3とMIS2の境界付近
後更新世	⑥層	黄～黄緑	礫混じり砂質シルト～礫混じり砂質シルトからなる。⑥層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	0.7-1ka
	⑤層	黄～黄緑	礫混じり砂質シルト～礫混じり砂質シルトからなる。⑤層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS4～3
中更新世	上部	灰白～淡黄緑	シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS5a～5b
	下部	灰白～淡黄緑	シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS5c
前期更新世	③層	黄～黄緑	砂礫を基質とする砂質シルト～砂質シルトからなる。③層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	135kaより古い
	②層	黄～黄緑	砂礫を基質とする砂質シルト～砂質シルトからなる。②層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	135kaより古い
	①層	黄～黄緑	砂礫を基質とする砂質シルト～砂質シルトからなる。①層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS6以前
古第三紀	基盤岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—

シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行不整合関係で接する。

(注) ① 層相境界
② 平行不整合境界
③ 不整合境界
④ 地層の分析と地層を異なる年代の目的、目的は、情報が得られるかどうかの

D-1トレンチに分布する地層は、花崗岩とそれを覆う第四系からなり、第四系は層相に基づき下位より①層～⑧層の地層に区分した。

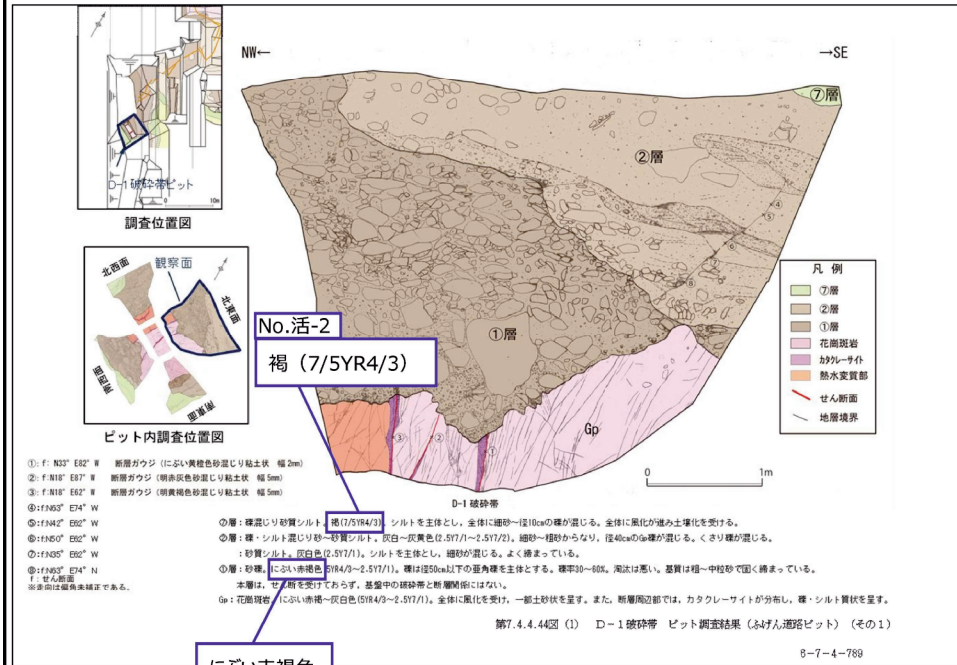
D-1 破砕帯 ピット調査結果 (ふげん道路ピット) (その1) 土色のマンセル記号 (No.活-2)、土色の記載 (No.活-3) を修正

従前

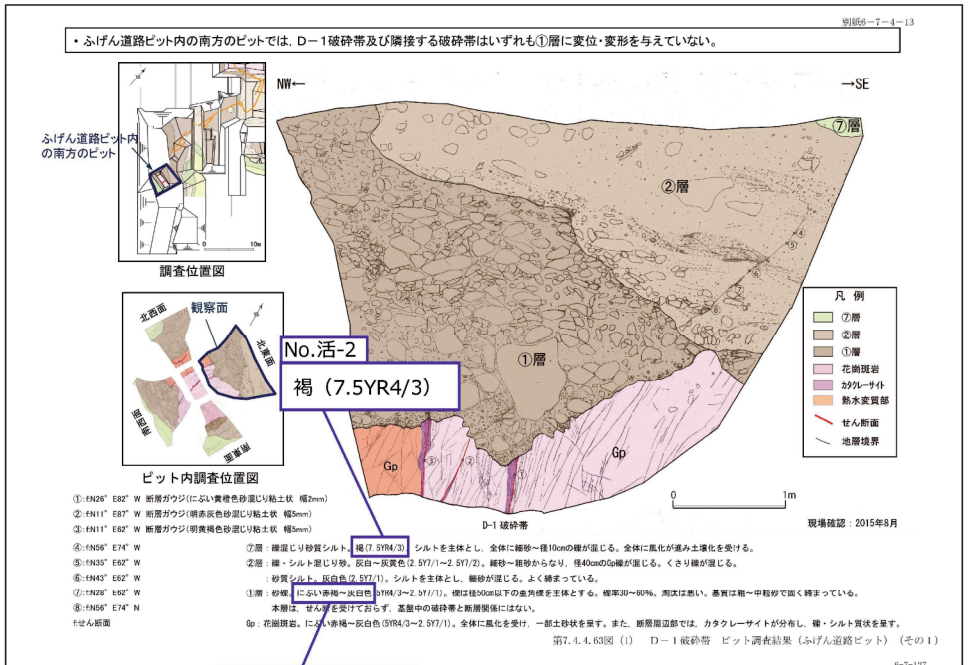
見直し後

敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
 添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
 水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
 6-7-4-789頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)



にぶい赤褐色
No.活-3



にぶい赤褐~灰白色
No.活-3

ふげん道路ピット内の南方のピットでは、D-1破砕帯及び隣接する破砕帯はいずれも①層に変位・変形を与えていない。

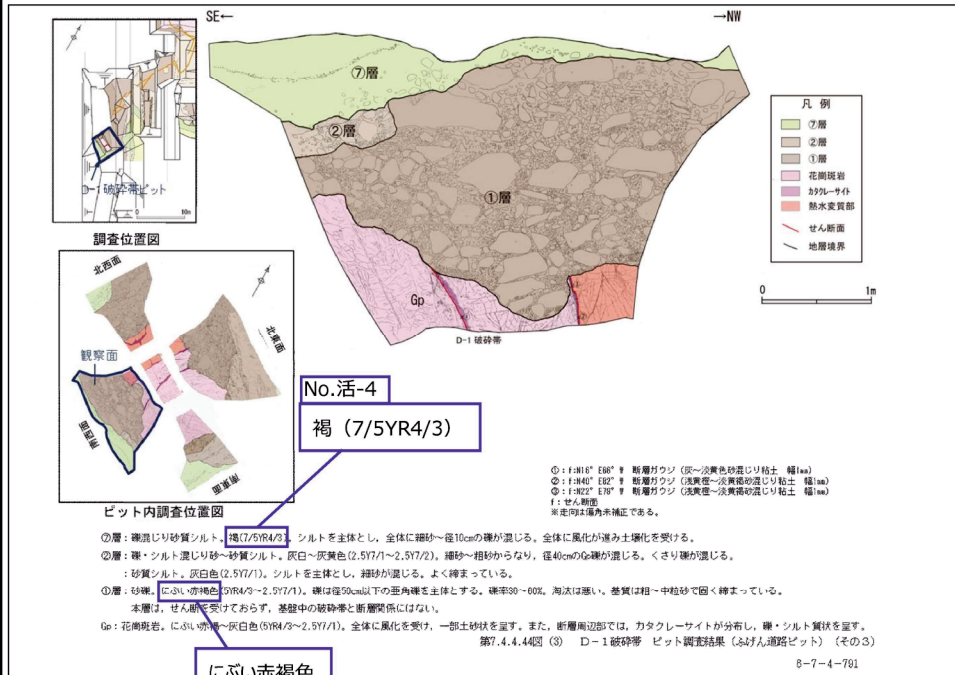
D-1 破碎帯 ピット調査結果 (ふげん道路ピット) (その3) 土色のマンセル記号 (No.活-4)、土色の記載 (No.活-5) を修正

従前

見直し後

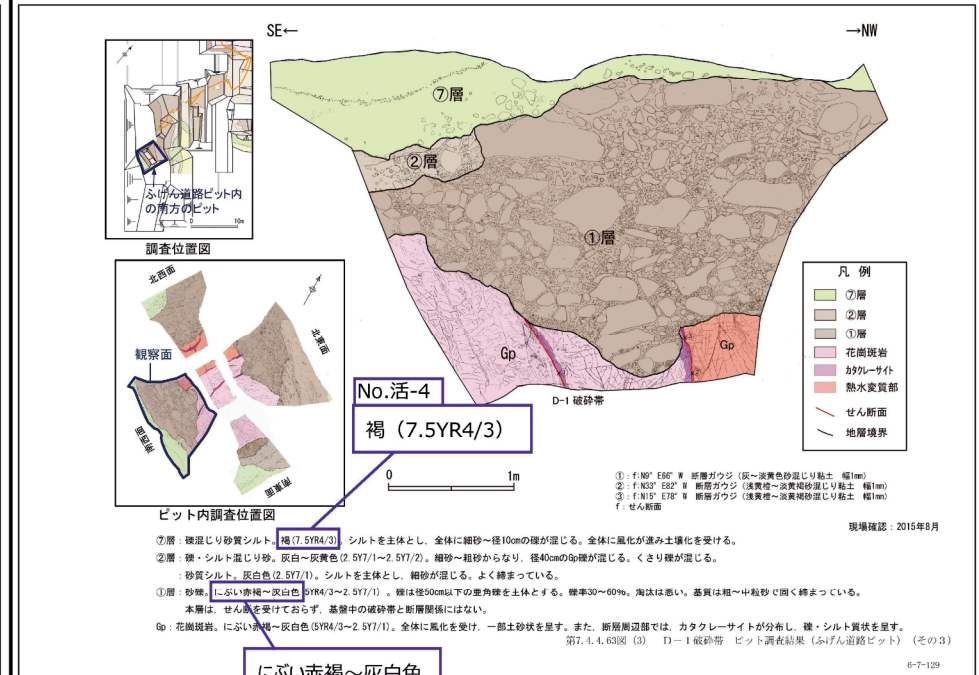
敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
 添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
 水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
 6-7-4-791頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)



No.活-4
 褐 (7.5YR4/3)

にぶい赤褐色
 No.活-5



No.活-4
 褐 (7.5YR4/3)

にぶい赤褐色〜灰白色
 No.活-5

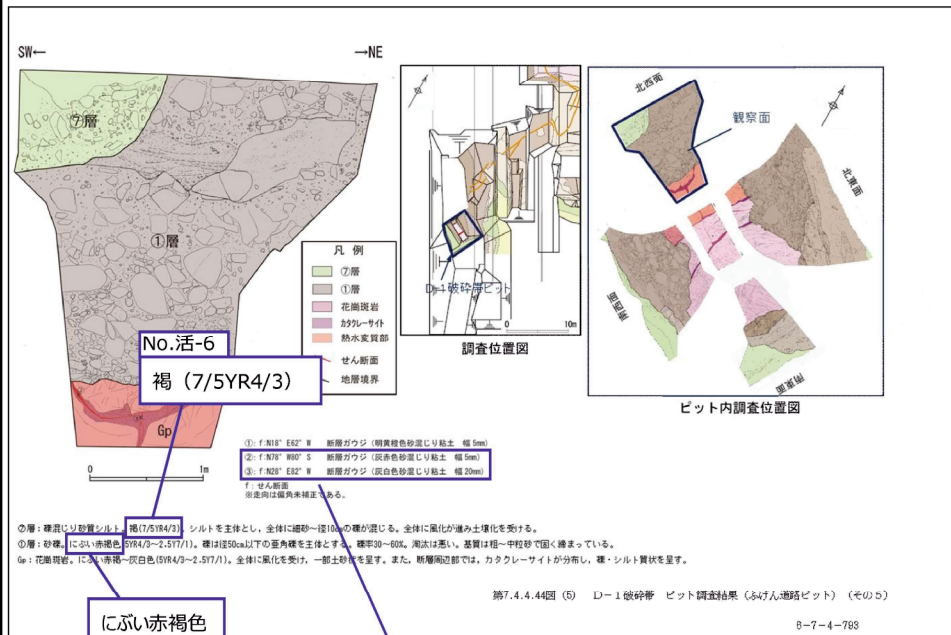
D-1 破碎帯 ピット調査結果 (ふげん道路ピット) (その5) 土色のマンセル記号 (No.活-6)、土色の記載 (No.活-7)、②③の記載 (No.活-8,活-9) を修正

従前

見直し後

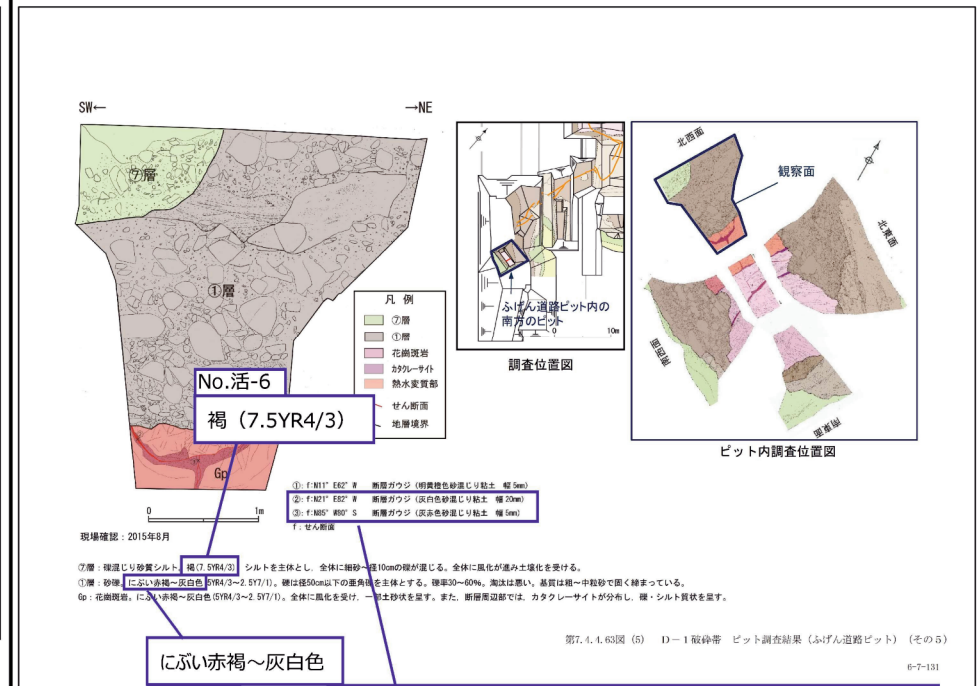
敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
 添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
 水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
 6-7-4-793頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)



にぶい赤褐色
 No.活-7

②: f:N78°W80°S 断層ガウジ (灰赤色砂混じり粘土 幅 5mm)
 ③: f:N28°E82°W 断層ガウジ (灰白色砂混じり粘土 幅 20mm)
 No.活-8,活-9



にぶい赤褐～灰白色
 No.活-7

②: f:N21°E82°W 断層ガウジ (灰白色砂混じり粘土 幅 20mm)
 ③: f:N85°W80°S 断層ガウジ (灰赤色砂混じり粘土 幅 5mm)
 No.活-8,活-9

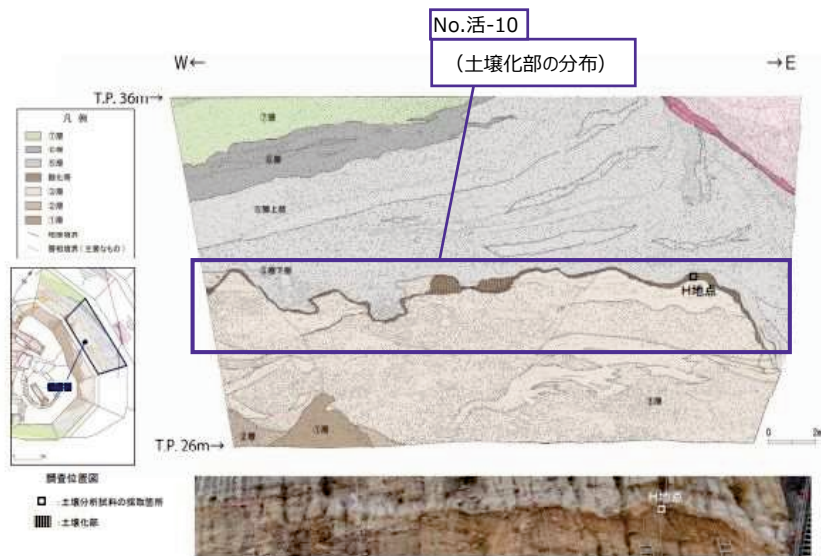
D-1トレンチ 土壌分析結果(北法面) (その1) 土壌化部の分布 (No.活-10) を修正

従前

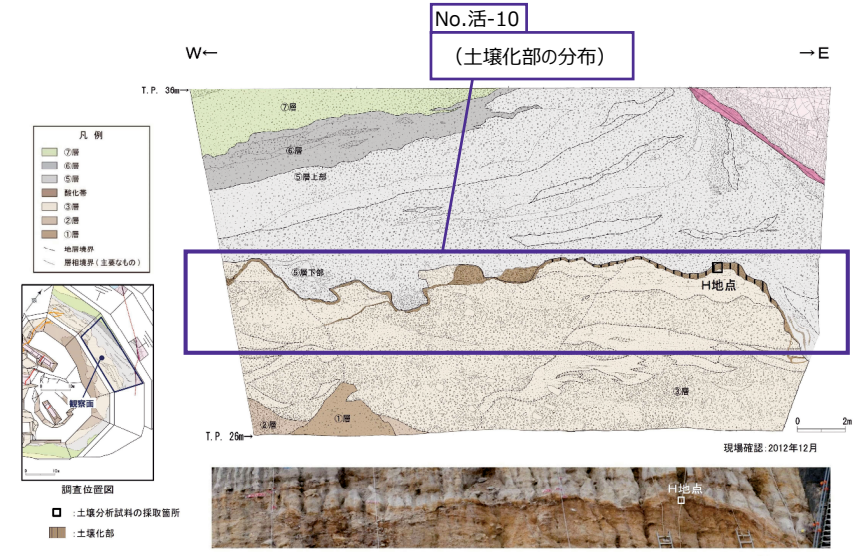
見直し後

敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
 添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
 水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
 6-7-4-811頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)



第7.4.4.53図 (1) D-1トレンチ 土壌分析結果(北法面) (その1)
 6-7-4-811



第7.4.4.73図 D-1トレンチ 土壌分析 試料採取位置 (D-1トレンチ北法面)
 6-7-142

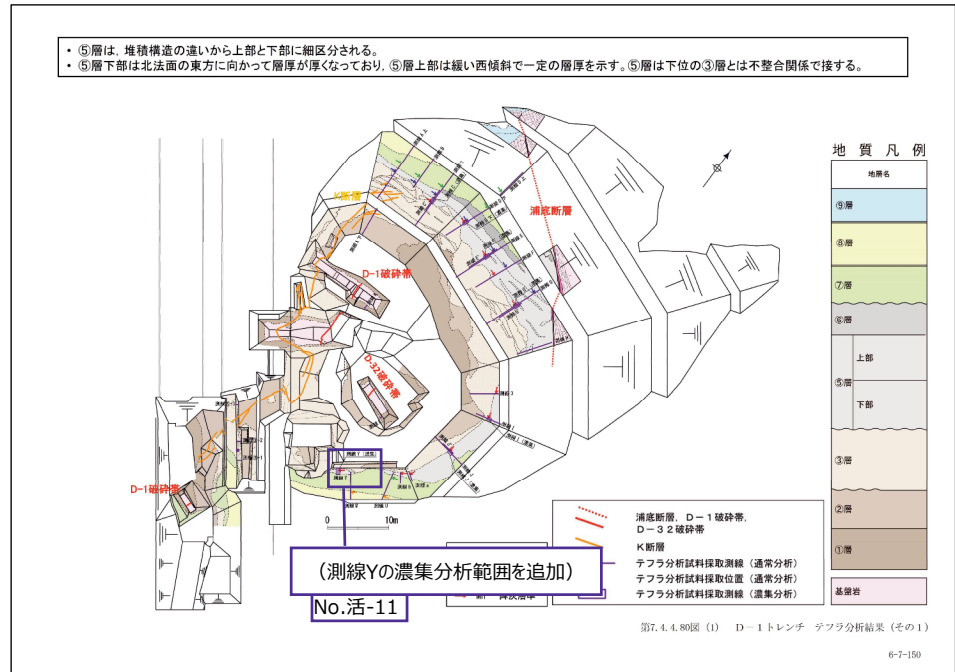
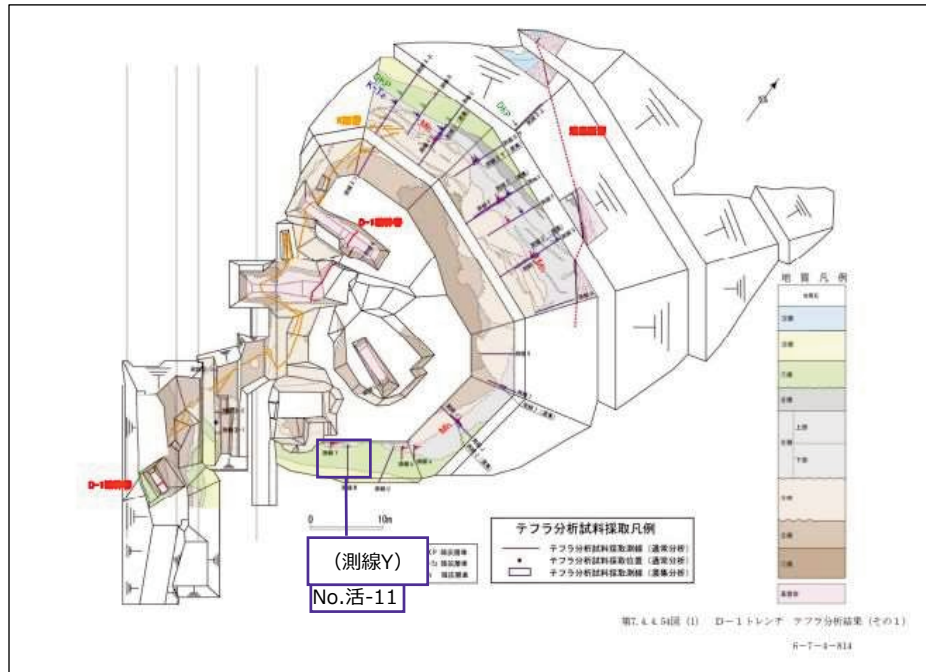
D-1トレンチ テフラ分析結果 (その1) 測線Yの濃集分析範囲 (No.活-11) を追加

従前

見直し後

敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
 添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
 水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
 6-7-4-814頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)



D-1トレンチ テフラ分析結果 (その5) 凡例に合わせグラフタイトル (No.活-13) を修正

従前

見直し後

敦賀発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 (平成27年11月5日)
 添付書類六 変更に係る発電用原子炉施設の場所に関する気象, 地盤,
 水理, 地震, 社会環境等の状況に関する説明書
 6-7-4-818頁

申請書(平成27年11月5日)添付書類六に追記(青太枠)

